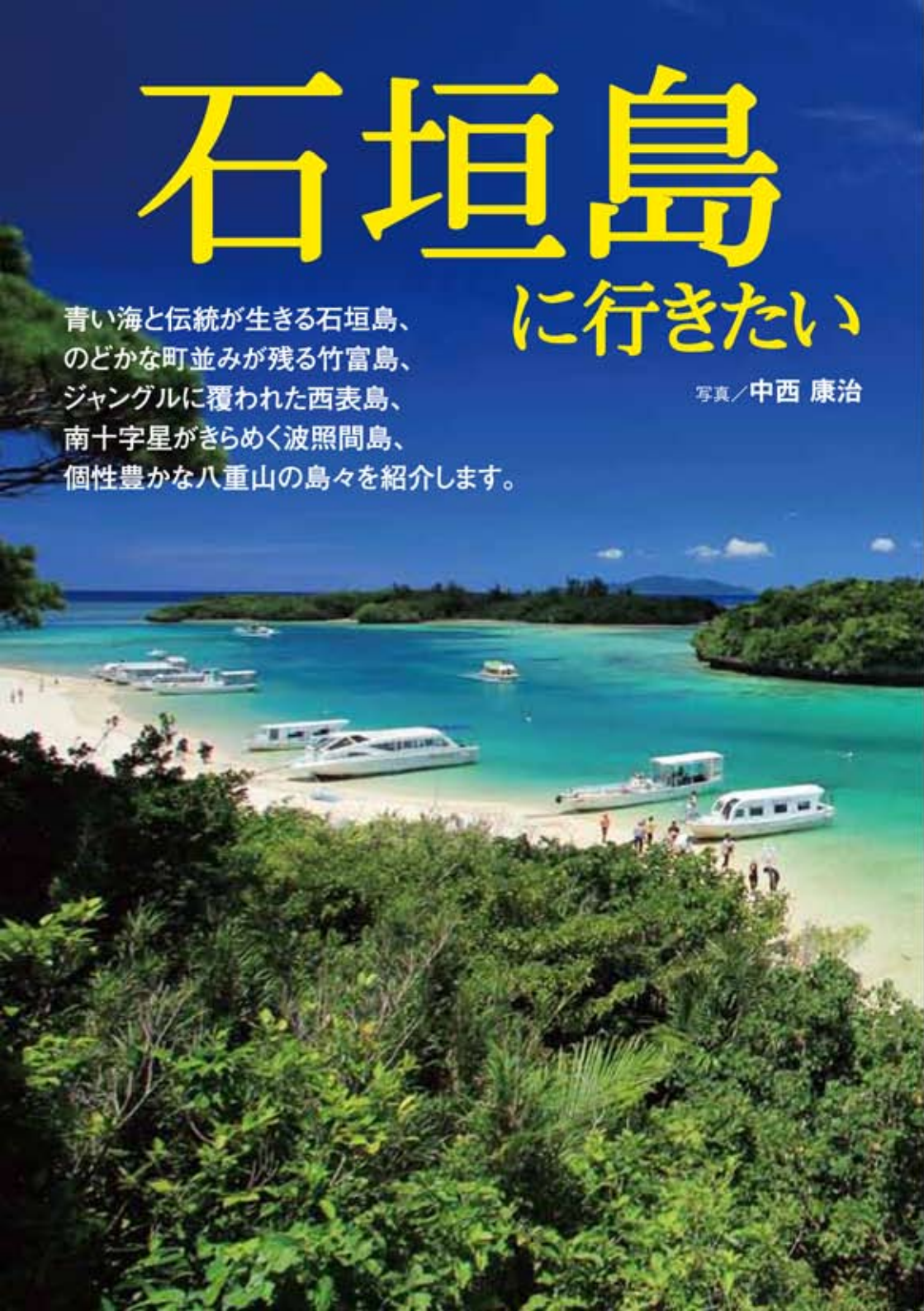


# 石垣島

## に行きたい

写真 / 中西 康治

青い海と伝統が生きる石垣島、  
のどかな町並みが残る竹富島、  
ジャングルに覆われた西表島、  
南十字星がきらめく波照間島、  
個性豊かな八重山の島々を紹介します。















上／河口付近に最も近い支流域。兩岸にはうっそうと生い茂るヒルギ林が続く。下／名蔵アンバルから少し離れた海側のエリアにも、小規模のマングローブ林が点在している。



石垣島に降る大量の雨は、やがて清らかな川となる。その川が、多雨林や湿地帯を生み、貴重な動植物を育んでいる。石垣島を巡る 豊かな自然



石垣島を巡る  
豊かな自然  
01

ラムサール条約に登録された動植物の宝庫  
名蔵アンバル  
Nagura Ambaru



Access

石垣市名蔵  
空港から県道211  
号線を川平方面へ  
車で20～30分。

上／満潮の名蔵アンバルを赤く染める朝焼け。下右／潮が引いて水位が下がり、根があらわになったヒルギ。下左／支流域の奥に生い茂るヤエヤマヒルギ。タコ足状に伸びた気根(きこん)により、満水時でも呼吸ができる。

名蔵アンバルとは、石垣島西部の名蔵川河口周辺に広がる、干潟やマングローブ林を中心とした一帯のこと。日本のマングローブ林を代表する存在であり、オヒルギやヤエヤマヒルギなど計六種のヒルギが自生している。

ここは、古くから地元の人々に親しまれてきた場所です。名蔵アンバルに生息するカニを擬人化した「アンバルヌミダガーマユンタ」という民謡が歌い継がれている。この民謡にもあるように、潮が引いた干潟にはカニをはじめさまざまな動物が顔を出し、そのなかには希少種も少なくない。加えて、貴重な鳥の飛来地や生息地にもなっていることから、二〇〇三年には国の鳥獣保護区に、二〇〇五年にはラムサール条約に登録された。

竹富島のコンドイビーチ。真っ白な砂浜とエメラルドグリーンの美しい海が広がる。(P.66)

## 石垣島に行きたい

2014年10月10日 第1刷発行

発行元	株式会社ファミマ・ドット・コム 〒170-6012 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 12F	編集・制作	株式会社エディング 〒162-0811 東京都新宿区水道町2-14 柴木ビル2F
発行人	市川 透(株式会社ファミマ・ドット・コム)	編集	小出彩奈・多田あゆみ
コーディネート	葛西弘子(シエルモンテ株式会社)	デザイン	多田あゆみ・小出彩奈
企画・原案	吉岡琢也(株式会社ファミマ・ドット・コム)	写真	中西康治 オーシャンズ石垣島 西表島パラダイスアドベンチャークラブ 環境省西表野生生物保護センター photolibrary
編集・協力	きいやま商店 林田建司 石垣島特産品詰め隊	印刷所	株式会社ツーンネット

### 【この本に関するお問い合わせ先】

株式会社ファミマ・ドット・コム  
TEL.03-5958-3817  
〒170-6012 東京都豊島区東池袋3-1-1  
サンシャイン60 12F『石垣島に行きたい』係

■株式会社ファミマ・ドット・コム情報は  
右記をご覧ください → <http://www.famima.com/>  
<http://www.pub-famima.com/>

©famima.com 2014 Printed in Japan

本書の内容、写真などの転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。  
本書を購入いただいたお客様ご本人あるいは第三者に依頼して、デジタル化することは、  
個人や家庭内の利用でも著作権法により認められておりません。